



諫高だより

ふじ
藤むらさき
紫長崎県立諫早高等学校・附属中学校
〒854-0014 諫早市東小路町1番7号
TEL 0957-22-1222 FAX 0957-22-5104
<http://www.news.ed.jp/isahaya-h/>

『その日が来るまで』

諫早高校 副校長 野中光治

東日本大震災から1年が経過し、全国各地で追悼の祈りが捧げられ、復興を誓った。しかし、被災地のがれき処理は遅々として進まず、47都道府県すべてに震災による避難者がいる。震災で親など保護者を失った「震災遺児」も2005人にのぼり、その内の43%が小学生以下であるという。その震災遺児となった小学校5年生の女子児童の作文がある。

「私は、津波のあと、しばらくして、遺体安置所に行きました。そこには、お父さんと、そのほか3人がいました。そこには、お母さんが先にいって、お父さんの顔を、泣きながら見てました。私は、お父さんの顔を見たら、血だらけで、泣きました。」(震災遺児作文集・あしなが育英会)。

あまりにも痛ましく、子どもの心に刻まれた傷の深さを思うと、言葉を失う。我々は、生まれ来る子どもたちに、二度とこのような思いをさせてはならない。今こそ日本の英知を結集し、科学、経済、政治が総力を挙げて取り組まなければならない時だ。

司馬遼太郎の「竜馬がゆく」の中に次のようなくだりがある。

「船が長崎の港内に入ったとき、竜馬は胸のおどるような思いをおさえかね、『長崎は、わしの希望じゃ』と、陸奥陽之助にいった。『やがては日本回天の足場になる』ともいった。」(司馬遼太郎「竜馬がゆく」文春文庫第6巻第3章。陸奥陽之助とは、のちの陸奥宗光。)

回天とは、天の運行を変えろということから、「国の勢いを盛り返す」という意味である。竜馬をして「わしの希望」と言わしめた長崎の地。その長崎に住む我ら諫高生よ、諫高附中生よ。今こそ日本回天の先頭に立とう。日本の希望となろう。「自分たちがやらなくて、誰がやる。」そういう気概を持って、その日が来るまで突き進んでいこう。それが、1世紀の歴史と伝統を誇りとし、新しい世紀に歩みを進めた諫早高校、諫早高校附属中学校に期待される使命のひとつである。君たちならできる。すでに、世界各地で活躍する幾多の先輩がいるではないか。

「どんな難しいことも
努力すれば何とかなる
絶対あきらめないで頑張ろう」

もう一度、下村脩博士から贈られたこの言葉をかみしめ、諫早高校、諫早高校附属中学校に託された使命を果たしていこう。

御書院にしだれ梅が咲いている。寒さの中で花開く梅。まさに強さの象徴である梅が、「困難の先に春がある」と我々に告げている。



御書院のしだれ梅(副校長撮影)

校内マラソン大会

総合（学級対抗）		駅伝の部（高校のみ）	
高校優勝	1年4組	第1位	1年2組
高校2位	1年2組	第2位	1年4組
高校3位	1年3組	第3位	1年3組
中学1位	1年2組		



高校女子のスタート

高校男子の快走



附属中男女のスタート

高校学級対抗駅伝

平成24年2月9日（木）、県立総合運動公園の周回コースにおいて第48回校内マラソン大会が開催されました。

今年の大会は、附属中学校第1回生が参加する初めての中高合同の大会で、昨年からはじめた高校の駅伝種目も引き続き行われました。持久走の部も駅伝の部も芝生広場や本部ゴール付近から生徒の走る姿が見えることもあり、応援にも熱が入りました。

今年度は本校の誇る陸上部（駅伝部）の生徒が週末に迫った県高等学校新人駅伝大会に出場することから、この大会では一般生徒の先導や途中監察・誘導などの係を務めてくれました。会場には多くの保護者の応援する姿も見受けられました。

理数科校内課題研究発表会

2月8日に1年生、2月16日には2年生の校内課題研究発表会が視聴覚室で行われました。1～2年間の課題研究のまとめとして、プレゼンテーションソフトを用いて発表並びに質疑応答を行いました。

1年生は初めてのプレゼンでしたが、興味深い内容のものが多く見られ、質問も多数出されるなど活気あふれる発表会になりました。2年生は、課題研究のまとめの時間確保が難しかったようでしたが、昨年の経験を生かし、各班団結して発表会に向けてまとめてきました。

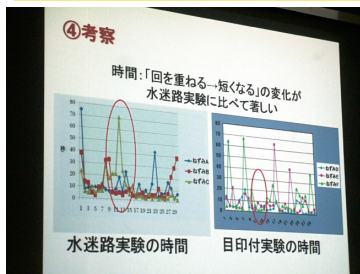
審査の結果、1年生は「琉球音階リコーダーの製作班」が、2年生は「チョークとヘドロで御書院浄化大作戦の研究」が最優秀賞を獲得し、6月に大村で行われる長崎県大会へ出場し、8月に島根県で行われる中国・四国・九州地区理数科高等学校課題研究発表大会を目指します。まずは、県大会での健闘を祈ります。



【最優秀賞】に輝いた各班

写真左 1年「琉球音階リコーダーの製作」班

写真右 2年「チョークとヘドロで御書院浄化大作戦の研究」班



1年課題研究発表会のプレゼンテーション画像

「ネズミの方向感覚」を水迷路実験で検証・考察したまとめ

クラスマッチ

附属中学校は3月2日、高校は3月13日、本年度最後のクラスマッチが行われました。中学校はバレーボール学級対抗戦、高校の実施種目はバレーボール男女、バスケットボール男女、バドミントン男女、サッカー男子、ドッジボール女子で、クラス一丸となって最後の学校行事を楽しみました。



バレーボール試合開始

サッカー中盤の争い

あふれる笑顔と歓声は、諫高・諫高附属中に
こだましていました。

同窓会入会式・表彰伝達式



入会を歓迎する森会長

表彰伝達される土橋さん

卒業式前日、同窓会入会式と記念品贈呈式・表彰伝達式が行われました。第64回生310名に対して、森 長之同窓会会長が歓迎の挨拶を述べられ、各クラス代表や評議員が紹介されました。引き続き卒業記念品（演台、テント）贈呈式、さらに、理数科の土橋葵さんへの県教委優良卒業生表彰、弓道部主将立山琢也君への高体連卒業生顕彰の伝達が行われました。

「決して楽ではなかったが充実感があった。諫高が大好きだ。」 答辞 山越君

第64回卒業証書授与式

平成24年3月1日、第64回生310名の卒業証書授与式が本校体育館で挙行されました。

石部邦昭校長は、式辞の中で、「安全で恒久的な代替エネルギーの開発、不況で閉塞感がある我が国の政治、経済、社会の状況」を「志」教育で学んだ君たちの手を変えてほしい、日本を救う真のリーダーとなってほしいとエールを贈りました。先輩方の励ましが何より前に進む勇氣となったという送辞に応じて、答辞の中で代表の山越翔陽君は、若者らしい澁刺とした表情で、家族や先生方や支えてくださった多くの方々への感謝の思いを述べました。式場にお越しいただいた多くの方々に祝福されて、「赤き志」第64回生は3年間の思い出と未来への志を胸に学舎をあとにしました。



総勢千五百余の式典



凛々しい代表答辞



今年も熱かった校長式辞



惜別の思いこもった送辞



卒業生を見守る学年主任



卒業式後の HR

諫早高校第13回、諫高附属中第1回文化部合同祭

3月18日（日）諫早文化会館において、文化部合同祭が開催されました。この合同祭は本校で活動している15の文化部が、1年間の成果を発表する会です。

今年は諫高附属中第1回の大会ということで、中学生関係の来場者も多く盛況でした。

会場は、諫早文化会館で、中ホールと展示ホールで作品展示を、午後からは大ホールで放送部の発表、ギター・マンドリン部、吹奏楽部の演奏を披露しました。また、茶道部が2階和室でお茶会を開催しました。

ご来場ありがとうございました。



美術部の力作



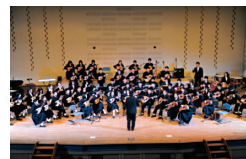
附属中美術作品



茶道部のお手前



附属中放送部の朗読劇



ギタマン部のテキーラ



中高吹奏楽部の熱演

第65回生 受験生としてのスタート

第1弾 進路講演会 3/10 ベネッセ 山河健二先生

演題：「進路実現に向けて、今なすべきこと」

「うだらない!」「入試には○か×しかない。」「人間突然変わらない。変わるためには無理がいる。」など魂の言葉

第2弾 卒業生交流会 3/17

山河先生ご自身の受験体験に基づく魂のこもった感動的なお話をいただきました。受験を解く、左記のキーワードは65回生の胸にもきっと刻まれたことだと思います。



諫高の「襷リレー」として毎年卒業生から贈られる後輩への珠玉のメッセージ。各クラスから選ばれた先輩の体験談に第65回生も胸を打たれました。いよいよ受験生へと変貌を遂げていきます。

喜びの笑顔 大学合格報告



本校では、諫高「一枚岩」、「チーム諫高」の合言葉のとおり、前期試験に合格した卒業生も中後期試験を控えた仲間を思いやり、後期の入試終了まで合格報告のための来校を自粛する習わしがあります。
後期試験が終わった3月12日、卒業生は満を持して合格報告をするために多数職員室に來ました。職員室特に3年学年席の至る所で見られる担任や教科担当を取り巻く輪、笑顔のメリーゴーランド、まさに「師弟同行」が実ったことをお祝いする特別な日になりました。思いやる心、感謝する心はこうして培われていきます。

お世話になりました。平成23年度 離・退任式

御書院の桜がほころび始める頃、教職員の定期的な人事異動の時期を迎えます。今年度、諫早高校創立100周年記念事業、諫高附属中学校の開校など歴史の節目をともに支えてきた先生方が退職、転勤されることになりました。寂しい限りですが、本校ではほとんどの卒業生がこの離・退任式に來校してくれます。先生方の本校最後の言葉を聴くために。

離・退任される先生方

- 【退職】
古賀 順子 先生
馬場 正 先生 (再任用で長崎北陽台高校)
- 【転任】
野中 光治 副校長 (壱岐高校 校長)
三井 博邦 副校長 (大村市立郡中学校 校長)
林田 和喜 教頭 (県教育庁総務課 参事)
前田 豊 事務局長 (長崎東高校)
江口 修 先生 (長崎北高校)
古門 雅昭 先生 (諫早東高校)
町田 正純 先生 (県教育庁体育保健課指導主事)
橋本 豪 先生 (国立諫早青少年自然の家)
濱村満紀子 先生 (川棚高校)
今鹿倉 直 先生 (五島高校)

新任の先生方

- 【校内昇任】
田中 健司 先生 (教諭から教頭へ)
平川美知子 先生 (事務室主任主事から主任へ)
【諫早高校から附属中学校へ】
島崎久美子 先生
福田 智明 先生
- 【転入・新任】高校
下釜 祐保 副校長 (豊玉高校 教頭から)
尼崎 彰 事務局長 (県教育庁教育環境整備課長から)
富永恵美子 先生 (長崎西高校から 国語)
田代 悟 先生 (長崎西高校から 音楽)
後田 康蔵 先生 (上五島高校から 物理)
神浦 陽子 先生 (五島高校から 生物)
守 英由子 先生 (上五島高校から 英語)
砂川 一真 先生 (対馬高校から 地歴公民)
原口 豊史 先生 (新規採用 化学)
高松 宏成 先生 (新規採用 数学)
廣瀬 祥子 先生 (講師 国語)
- 【転入・新任】中学校
田中 勝 中学副校長 (長崎市教委 主幹から)
小野下洋美 先生 (長崎東高校から 国語)

諫早高校で良かった！の言葉



転・退任される先生方



退任される馬場正先生(左)と古賀先生(右)

感謝

おもな学校行事

4月	5月	6月
4/ 9(月) 始業式・入学式	5/ 2(水) 中間考査時間割発表	6/ 1(金) 高総体総合開会式 (佐世保)
4/10(火) 新入生テスト・校内実力 (2・3年)	5/ 6(日) 高校休日学習会	6/ 2(土) 高総体
4/11(水) 校内実力(中2年・高3年)・中高対面式	5/11(金) 中間考査(中・高1年12-14、高2・3年~14)	6/ 4(月) スケッチ大会(中)
4/14(土) 学力推移調査 (中2年)	5/12(土) PTA総会・学年PTA	6/ 5(火) 高総体代休、市中総体代休
4/16(月) 中高新入生宿泊研修 (~4/18)	5/15(火) 学方セミナー (中16.17高~16)	6/ 9(土) 市中総体(~10)
4/18(水) 遠足 (中2年、高2年・3年)	5/25(金) 県総文祭連合音楽会(ギター・マンドリン)	6/11(月) 市中総体代休
4/20(金) 高校理数科対面式	5/26(土) 県総文祭連合音楽会(吹奏楽)	6/14(木) 高校第1回中高連絡会
4/28(土) 高校土曜学習会	5/28(月) 高総体代休 (6/2分)	6/28(木) 期末考査(高7/3、中6/29まで)
		6/30(土) 中：算数・数学コンクール